

1 本校の教育目標

【校訓】

- ・正しく
- ・強く
- ・美しく

【学校教育目標（目ざす生徒像）】

- ・知性をみがき、自己を高める生徒 ～夢や目標に向かって、自発的に取り組む力を育てる～（知）
- ・心身を鍛え、気力あふれる生徒 ～強い意志をもち、根気強くやり抜く力を育てる～（体）
- ・自他を尊重し、助け合いみがき合う生徒～礼儀正しく、共に伸びようとする心を育てる～（徳）

2 経営方針 「生徒を大切に作る学校づくり」

生徒の命を第一に考え、一人一人の人格や個性を認めたくて、生徒の思いに寄り添い、生徒のもっている力を最大限伸ばしていく教育を実践する。また、生徒が育つ環境づくりのために、進んで保護者・地域と協力することで、信頼される教職員集団「チーム南稜」が育つ学校経営をすすめていく。

（１）「知性をみがき、自己を高める生徒」、「心身を鍛え、気力あふれる生徒」、「自他を尊重し、助け合いみがき合う生徒」（目ざす生徒の姿）が育つ学校教育の推進

- ① 問題解決的な学習の推進（ESDを含む）② 体育の授業や部活動をはじめとした活動の充実、不登校の未然防止・早期対応 ③ 行事を通して「心」を成長させるしかけづくり

（２）保護者・地域と力を合わせ、ともに歩む学校づくり

- ① 基本的生活習慣の定着 ② 安全安心な環境の整備 ③ 地域や家庭との連携

（３）教職員が信頼される学校づくり

- ① 高め合う職場の環境 ② 風通しのよい人間関係 ③ 教職員としての自覚

3 本年度の重点努力目標

（１）「知性をみがき、自己を高める生徒」、「心身を鍛え、気力あふれる生徒」、「自他を尊重し、助け合いみがき合う生徒」（目ざす生徒の姿）が育つ学校教育の推進

① 「知性をみがき、自己を高める生徒」が育つ学校の育成（知）

- ・「わかる・できる」を大切にした基礎的な知識・技能の定着を図る。（各種コンクールの実施）
- ・「問題解決的な学習」を重視する。特に、「人・こと・もの」との関わりと、ICT（タブレット）の活用を意識した活動を通し、「もっと学びたい」という授業づくりを目ざす。

② 「心身を鍛え、気力あふれる生徒」の育成（体）

- ・体育の授業や部活動を通し、健康な心身をつくる。
- ・生活サポート委員会を中心に保護者・関係機関と連携し不登校の未然防止・早期対応に努める。

③ 「自他を尊重し、助け合いみがき合う生徒」が育つ学校（徳）

- ・道徳の授業を行事と関連づけ、「命」「人権」「思いやり」等の規範意識を高める。
- ・体育祭、文化祭、合唱コンなどの「行事」を通して感動体験につながるしかけづくりをすることで、よりよい学校づくりを目ざしたいという「意識」を育てる。

（２）保護者・地域と力を合わせ、ともに歩む学校づくり

① 基本的生活習慣の定着（人間関係の基盤）

- ・生徒自らが南稜らしい「挨拶」「静掃（無言清掃）」を考えることで、基本的生活レベルを高める。
- ・行事・集会、係や委員会活動を通して、自己の立場と責任を意識させる。そして、「できたことをほめる」ことで達成感をもたせ、お互いのよさを認め合う集団づくりにつなげていく。

② 安全安心な環境の整備（安全意識の高揚、いじめの起きにくい集団）

- ・校内環境整備、避難・防災訓練や登下校の指導を通して生徒と教職員がともに安全意識を高める。
- ・生徒と過ごす時間を増やし、表情や仕草に気を配り、いじめの起きにくい温かい集団をつくる。

③ 地域との連携（積極的な情報発信、4小1中と地域の連携、ボランティア活動の推進）

- ・ホームページや各種通信を通して、学校の様子について積極的な情報提供に努める。
- ・4小1中と地域の連携を強化し、目ざす生徒像を共有し9か年を見通した小中一貫教育を進める。
- ・生徒会ボランティアセンターを柱としたボランティア活動を充実させ、生徒のよさを発信していく。

（３）教職員が信頼される学校づくり

① 高め合う職場の環境（授業力・学級経営力向上へ向けた校内現研）

- ・授業や学級経営を見合うことで、OJTを機能させ力量向上のための環境づくりを推進する。
- ・ライフワークバランスを意識した働き方を推進する。

② 風通しのよい人間関係（組織での対応）

- ・話しやすい環境を整え、些細なことでも報告・連絡・相談・確認ができるような体制づくりに努め、問題発生時には組織で対応する。

③ 教職員としての自覚（教職員の意識の向上）

- ・不祥事は「自覚」と互いの「声かけ」で、防いでいく。
- ・事案に対し、「バンドエイド一枚」の対応（迅速な対応）、「足を運ぶ」対応を心がける。